

押小だより
てんしんらんまん

天真爛漫



令和6年3月15日
さくら市立押上小学校
令和5年度 第17号
文責：仁平 博幸

1年間大変お世話になりました もうすぐ令和5年度終了～未来に向かって～

卒業式の練習もほぼ終え、式まで4日となりました。また、1年生から5年生の修了式も10日後に控え、4月にスタートした教育活動も終了を迎えようとしています。これまで、大きな事件・事故等なく活動できたのも、児童や教職員のがんばりと、保護者や地域の皆様のご協力のおかげです。1年間、本当にありがとうございました。児童は、新たな学年への進学や進級に向けて、心と体の準備をしています。ご家庭でも、お子様の進学・進級に対する期待や不安に寄り添っていただけたらと思います。

6年生の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。長きにわたり、本校の教育活動に対しご理解とご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。さて、2月中旬、給食後の昼休み、校長室で6年生全員とお話しする機会を設けました。毎回3~4名の6年生に来てもらい、6年間の思い出や中学校のこと、将来の夢や目標などについてお話ししました。楽しかった思い出や自分の将来の夢、また、中学校進学に向けての不安などももっていることをお話ししてくれました。いろいろな話題が出ましたが、子どもたち一人一人とお話ししてみて、あらためて、子どもたちがとても素直で、真剣に話をしたり聞いたりできると感じました。実は、本校職員に「本校の子どもたちのよさ」を聞いてみたところ、多くの職員が「素直であるところ」をあげています。素直であることは、人とのコミュニケーションや、これからの大変な時代で相手を受け入れる点でもとても大切なことです。素直な心や態度の育成は、ご家庭での子どもたちへの関わりがとても大きいと思っています。素直に、そして健やかにお子様がこれまで成長してきたことに対し、保護者の皆様に感謝申し上げます。3月19日の卒業式では、お子さんの卒業をお祝いいただくとともに、どうぞ、保護者の皆様ご自身をねぎらっていただければと思います。

むすびに、この1年間、全ての子どもたちと保護者の皆様にあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。(仁平博幸)

22名の6年生、卒業おめでとう！



伝統のバトンを引き継いで 6年生から5年生へ

6年生の卒業に向けて、校内では5年生への引き継ぎが行われています。これまで、6年生がずっと担ってくれていた、毎朝の国旗掲揚は、3月から5年生が担当しています。大切な国旗掲揚の役割を、毎朝忘れずに行う責任を5年生もしっかりと果たしていくことでしょう。また、朝の挨拶運動も12月から6年生と一緒に5年生が参加しています。卒業式の会場準備・設営も5年生が行っています。前回の学校便りで紹介しました「6年生を送る会」もそうですが、このように一つ一つの事柄や行動、思い・願いが伝統として受け継がれていくのだと思います。伝統のバトンを引き継いだ5年生のますますの活躍を期待しています。



～“学校って楽しい”プロジェクト～ おしひょうひなめぐり

「あ！ここにあった！」「わーかわいい！」「次は2階に行ってみようよ。」

廊下から子どもたちの元気な声が聞こえてきます。3月4日からの1週間、校内雛めぐりを実施したときの様子です。



先月末に、授業支援でお越しになった地域の方とお話をしていたところ、地域の婦人会で製作した雛飾りがあると伺い、子どもたちに見せたいと考えました。そのようにお伝えしたところ、さっそくその日の夕方、いろいろな雛飾りを持ってきてくださいました。

さて、どのように子どもたちに見せたらよいかなどと考えていたところ、2月から3月頭にかけて行われた「氏家雛めぐり」にヒントを得て、(3月3日は過ぎていきましたが)校内雛めぐりをすることにしました。「おしひょうひなめぐり」と題して、校内7カ所に雛飾りを置き、子どもたちが巡るというものです。雛めぐりカードも用意して、雛飾りのところに書いてあるキーワードを書き入れていく、ちょっとゲーム的なことも行いました。休み時間、子どもたちが、楽しそうに雛飾りを探して校内を歩いていく様子を見て私も何だかうれしくなりました。



学校は、子どもたちが集い、勉強したり遊んだり、おしゃべりしたり、行事があったりして、本来楽しい所だと思いますし、そうありたいと願っています。今回の雛めぐりを通じて、どんなお雛があるか、どこにあるか、キーワードを集めるとどうなるのかなど、子どもたちがワクワクして、今まで以上に、「学校って楽しいところだな」と感じられたらしいなと思っています。

地域の関係の皆様には、雛飾りのご協力に感謝申し上げますとともに、今後も、子どもたちの「学校って楽しい」という思いがもてるようご協力をいただければと思います。ありがとうございました。

PTA会員・賛助会員・同窓会員の皆様へ

この1年、大変お世話になりました。各会の会長様はじめ役員の皆様、専門部や学年委員（PTA）の皆様、また地区委員（地区連絡員）の皆様には、それぞれの取組にご尽力いただき感謝申し上げます。

アフターコロナとなり、学校やPTA活動にも明るい兆しが見えていると感じています。PTA会員ならびに賛助会員、同窓会員の皆様のご協力により、環境も整えられ、子どもたちの教育活動も充実したものとなっています。今後とも、保護者の皆様と地域の皆様のお力を貸しいただければ幸いです。

◎3月の学校の様子をご紹介します。

3月13日（水）

○同窓会入会式（6年）

同窓会長様、PTA会長様に臨席いただき実施しました。お二人から記念品をいただき、代表児童が同窓生としての感謝と誓いの言葉を述べました。



3月13日（水）

○表彰（全校生）

6年生を中心に今年度最後の表彰を行いました。篤行善行少年、体育優良児童、書道展、体力つくり奨励賞を表彰しました。



押上小がこんな学校に…
「一人一人が主人公の学校」
「みんなが幸せを感じる学校」
『また明日ね』と
笑顔で帰れる学校



※学校ホームページも、よろしければアクセスください。



「押小のお宝」 認定第6号《109人の子どもたち》

この「押小のお宝」も最終回となりました。最終回の「押小のお宝」は、本校の109人の子どもたちです。

朝のあいさつ、そして廊下でのあいさつには本当に感心しています。休み時間も元気に仲良く遊びます。図書の貸出も増えています。グループの話し合い・学習活動も一生懸命に取り組みます。上級生が下級生に優しく接します。

何にでも全力で取り組める、素直で優しさがあふれる子どもたちは、本校の一番の「宝」です。「宝」である子どもたちにいつも幸せをもらっています。

